



富士の民話 あれこれ

原田地区の滝川にある永明寺東側の池に、こんこんとわき出る水を頭からかぶつて立っている不動様があります。この不動様は、「いぼとり不動」と呼ばれ、お参りすると、いぼが取れると言われています。

今回は、原田地区に生まれ育った鈴木宏音さんから、お話を伺いました。

昔、滝川付近に、いぼが体じゅうにできている娘がいました。どうにかして、いぼを取りたいと、いろいろな医者にかかると薬をつけてみましたが、どうしても治りませんでした。

あるとき、永明寺の和尚さんに相談したら、

「池の中の不動様にお願いしてみなさい」

と言われ、二十一日（三掛かる七）の願をかけて、毎日はだしでお参りをしました。

そして、ちょうど満願の二十一日目の明け方でした。

娘の夢まくらに不動様が立って、

「池の水をかけなさい」

とお告げになりました。

娘は、起きるとすぐに不動様の池へ行き、夢中で体じゅうに水をかけました。するとどうでしょう、いぼは、みるみるうちにすっかり取れて、とても美しい娘になりました。

それから後、村の人たちは、この不思議な不動様を「いぼとり不動」と名づけて信仰しています。

いぼとり不動

十四、五年前、息子の左ひざに大きないぼができました。私は、幼いころから「いぼとり不動」の言い伝えを聞いていたので、その話を思い出し、息子のいぼを治したい一心で、不動様をお参りしました。

二回ほどお参りして、不動様が頭からかぶつていて水を、息子のひざに塗つたところ、何と息子のいぼは取れてしまつたんです。実を言うと、今でも信じられないくらいです。



鈴木宏音さん（宇東川東町）

こちら編集室

以前から居座っていた“親知らず”が、とうとう虫歯になってしましました。しかも、隣の歯の根元に向かって生えていて、おまけに抜くときに骨が邪魔になるという厄介なものでしたが、何とか抜くことができました。

やわらかい物ばかり口にしてい

ると、あごの発達が遅れて、歯の生えてくるスペースがなくなるということを聞いたことがあります。

私も決して歯並びのいい方ではありません。

幼いときから、かたい物などを食べておくと、歯のため、あごのためにもいいかもしれませんね。

人口 233,284人

男 116,289人 女 116,995人

世帯 73,621世帯（9月1日現在）

発行・編集 富士市総務部広報広聴課

富士市永田町1-100 ☎51-0123

